



▲呉駅前の完成イメージ

こんな未来はすぐそこに 呉駅前開発と次世代モビリティ



イッテモドコデモ クレシガキ



▲市役所前を走る次世代モビリティ（自動運転EVバス）

呉市議会だより

“未来につながる 私の夢”



呉市立昭和南小学校 6年生 東 来乃実 さん

■私の夢は、保育士になることです。私には1年生の弟がいて、昔から弟やいとこなど小さな子と接することが多く、子どもと関わる仕事に興味をもったのがきっかけです。

また、呉市の人口が減っているなか、これからはたくさんの方が集まる街にしていきたいです。そのために、子どもたちにとって安全、安心で、呉市に住みたいと思えるような場所にしていきたいです。

日	月	火	水	木	金	土
2/2	3	4	5	6 総務委員会	7 民生委員会	8
9	10 文教企業委員会	11 建国記念の日	12 産業建設委員会	13 議会協議会	14 告示日	15
16	17	18	19	20	21 本会議	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25 休会	26 休会	27 休会	28 本会議	3/1
2	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6 総務委員会	7 民生委員会	8
9	10 文教企業委員会	11 産業建設委員会	12 予算特別委員会	13 本会議	14 予算特別委員会	15
16	17 予算特別委員会	18 予算特別委員会	19 予算特別委員会	20 春分の日	21 休会	22
23	24 予算特別委員会	25 本会議	26 予備日	27	28	29

※予定は変更になる場合があります。

本会議や委員会の傍聴ができます！



議会棟 4階にて！

会議は通常、
10時に開会します。

インターネットでライブ中継・録画配信中！



呉市議会
インターネット中継



YouTube / 呉市議会

録画した本会議を
YouTubeで配信しています。

呉市議会
YouTubeチャンネル



編集後記

全国の路線バスの完全廃止路線は、2009～2023年度までの15年間で、合計21,282km、地球の半周分の距離を超えたと報告があります。呉市も少子高齢化や過疎化の影響により、路線バスの廃止・減便で、自家用車が運転できなくなった高齢者の皆さんは、移動が制限され、買い物難民、病院への通院難民の問題で日常生活に支障が出ています。その解決策の一つとして、今回、取り上げた交通まちづくりとスマートシティの拠点形成を目指す「呉駅周辺地域総合開発」による、次世代モビリティや自動運転EVバスによる新しい移動手段への期待は大きい所です。

同時に、地域公共交通衰退の根本的な解決と乗客の安全が保障される乗り物が増えるよう取り組むべきです。そのためにも多種多様な市民の声を反映させ、市民が喜ぶ「呉駅周辺地域総合開発」「総合交通対策」の実現こそが市に求められていると言えます。

広報委員 久保 東



議会はここが気になった

(R6. 8.23 総合交通対策特別委員会)

Q 現在の待合場所は「屋根がないから何とかしてほしい」と市民からの要望があります。どのように配慮されますか。

A タクシーと身体障害者用の駐車場所は、1階の呉駅に近い場所に整備されます。2階デッキが屋根の代わりになる仕様です。



どう変わるの？ 呉駅前

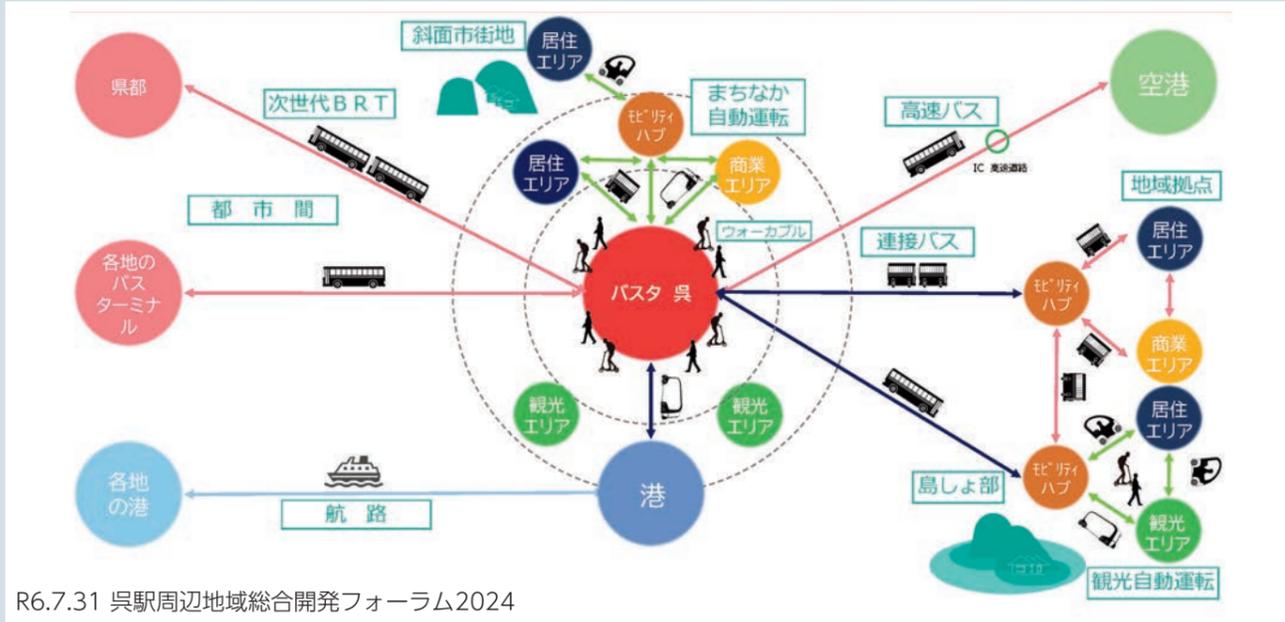


呉駅前開発 これまでの経過
 呉駅周辺地域は、さとう呉店跡地の再生や駅前広場の老朽化・機能低下が課題となっていました。
 現在、さとう呉店は解体され、跡地には民間のマンション等を含む後継建物、呉駅前1帯は国による呉駅交通ターミナル（国のバスタプロジェクトの一環）の整備が始まっています。

- 一般車の送迎場（呉市が整備）
- 交通ターミナル（国が主導して整備）
- 商業用後継建物（民間主導で整備、一部の公益機能を国と呉市が整備）

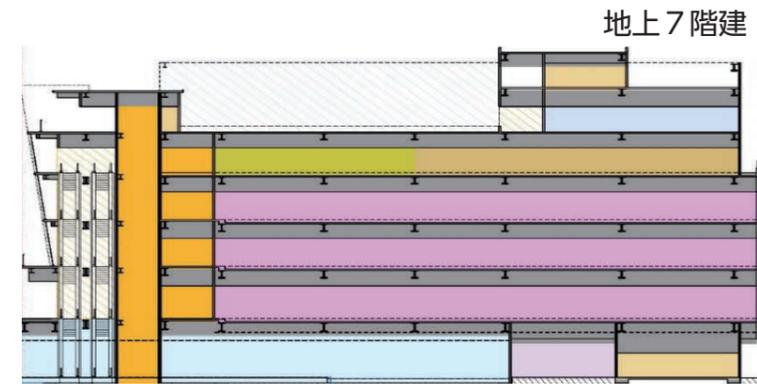
バスタを起点に広げるまちづくり

国が進めるバスタプロジェクトは、現在7都市が採択され、同規模の都市としては、初めて呉市が採択されました。



R6.7.31 呉駅周辺地域総合開発フォーラム2024

呉駅交通ターミナル（バスタ）を起点に、呉市の各地域をそれぞれの状況にあった交通手段で結びます。また、全国の他都市をつなぎ、ビジネスや観光など人の交流を拡大させ、にぎわいを創出します。そして拡大した市内消費による潤いを市民が体感できるまちを目指していきます。



商業用後継建物	
2F- 4F (民間機能) ・飲食 / 物販 / オフィス	5F・ 6F (公益機能) ・呉市子育て支援センター (くれくれ・ば) ※「ユース世代の居場所」を新設します。
2F (公益機能) ・バス待合 ・アーバンデザインセンター	5F・ 6F (民間機能) ・クリニック・健診センター ・フィットネス・多目的コート
1F ・交通ターミナル	

居住用後継建物
4F-20F (民間機能) ・分譲マンション 154 戸
2F・ 3F (民間機能) ・高齢者向け賃貸住宅 30 戸
1F ・エントランス等

インタビュー



▲安浦地区で運行する小型車両

地域内交通の現状 デマンド型交通の導入

安浦地区のデマンド型交通による運行

安浦地区は、令和 2 年 10 月にデマンド型交通を導入しました。2 台の車両（定員 33 名の中型車両と定員 10 名の小型車両）で運行していますが、小型車両の概ね 8 時 30 分から 14 時までの時間帯で、デマンド型交通による運行をしています。小型車両のその他の時間帯や中型車両の全ての時間帯では、路線定期運行をしています。

デマンド型交通の利用方法は、前日の 17 時までに電話予約することで利用場所に近い乗降ポイントに配車される仕組みです。

運行事業者の声

地域の方の移動手段だけでなく、車内で地域のスーパーのチラシやイベント等の情報を発信する場として進化していくことが必要と考えています。

デマンド型交通ってなかに

路線バスなどは、決まった時間・経路で運行（路線定期運行）していますが、デマンド型交通は、路線バスとタクシーの中間的な位置にある交通機関で、予約があった場合のみ運行する形態です。



▲富士交通(株)山本さん

総合交通拠点

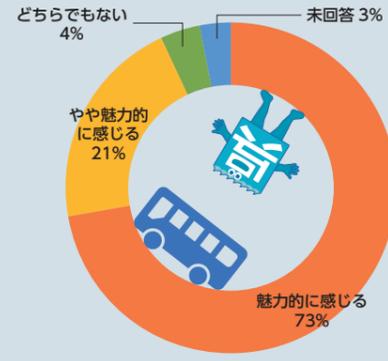
2階デッキ
 雨や日差しから守る快適な空間
 平時・災害時に情報を発信する大型サイネージ
 憩いと賑わいの場となる広大なデッキ空間
 緊急車両やキッチンカーが昇降できるスロープ

1階 交通ターミナル | バス | タクシー | 一般車 | 次世代モビリティなど多様なモビリティ

市民はどう思ってる

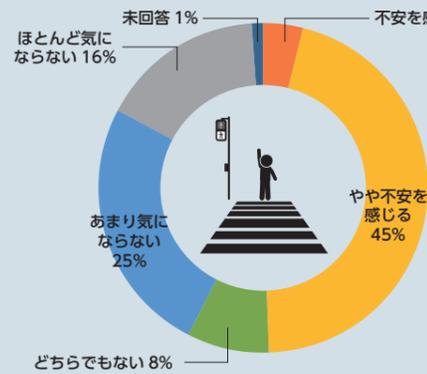
令和5年に行った交通社会実験で自動運転バスに乗車した方にアンケート調査を行っています。気になる項目を紹介します。

Q 自動運転車両が走るまちは魅力的ですか。



「魅力的に感じる」「やや魅力的に感じる」と回答した人を合わせると、約9割が魅力的と回答しています。

Q 交差点や横断歩道を渡る際、自動運転車両が来たら不安に感じますか。



自動運転車両が来たら「不安を感じる」「やや不安を感じる」と回答した人が約5割で、自動運転に対する認知向上が必要です。

今後の展望

(呉駅周辺事業推進室×広報委員会)

Q 令和元年より次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験を実施しています。自動運転が目指す将来像を教えてください。

A 運転手不足などの交通課題の解決だけでなく、移動する店舗など新たな付加価値も創出し、採算性の改善やエリア価値の向上を目指します。

Q 次世代モビリティの導入に向けての課題を教えてください。

A 交通社会実験により、路上駐車があるとオペレーターの介入が必要となることや、自動運転に対する受容性の更なる向上が課題であると考えています。

インタビュー

広島大学大学院先進理工系科学研究科
教授 藤原章正 (交通工学) さんに
インタビューしました。

Q 呉市の未来、自動運転バスに期待することは何ですか。

A 呉市内やまちなかの商店街をそれぞれ活性化するためには、その地域間を自由に行き来できる移動手段が必要です。人口減少や高齢化を考えると、自動運転バスは非常に有効な手段として検討できると考えています。

取材を終えて



おきた のりひこ 委員

超高齢化、働き手不足、地球温暖化対策として、自動運転による移動手段の役割は大きく、早期の実用化を進めるべきと考えます。

誰もが使いやすい移動手段は街の活性化に重要な存在です。今後の次世代モビリティの進化、そして実用に期待したいと思います。

みつむね ひとし 委員



こんな未来はすぐそこに

令和6年 NAVYA Mobility [NAVYA EVO]
自動運転車と歩行者が混在する賑わい空間の実現に向けて、さらなる検証を目的に社会実験を実施しました。



トヨタ [SORA] 燃料電池バス (水素バス)



ベース車両 日野自動車 [ポンチョ]

令和元年 SORA

次世代モビリティ導入に向けて市民(利用者)の受容性についての検証や理解促進を目的に実施しました。

車両は災害時の非常用電源機能も有していました。

令和2年 ポンチョ 自動運転改造車

自動運転車両の走行に必要な道路環境の諸条件を整理し、課題を抽出しました。

また自動運転専用レーンにより3車線から2車線に減少した場合の一般交通車両等への影響について検証しました。

令和3年

次世代モビリティの導入路線について検討しました。呉市中心部においてGNSS(GPS)の電波状況や道路状況など基礎調査を実施しました。

令和4年 J6 自動運転改造車

令和3年の結果を踏まえ、自動運転車両の自己位置特定を補助する①GNSS受信低下区間へ磁気マーカー②全天候下で視認性に優れた高輝度区画線(白線)を整備し、有効性を検証しました。



ベース車両 中国 比亚迪汽車 [J6(EV)]



フランス NAVYA Mobility [NAVYA ARMA]

令和5年 NAVYA ARMA

整備予定の呉駅前広場2階デッキをイメージした歩行者・車両が混在した空間での自動走行を検証しました。

呉市は交通まちづくりとスマートシティの拠点形成を目指す「呉駅周辺地域総合開発」を進めるなか、次世代モビリティにも対応した機能整備を推進しています。この特集では、実験の様子や今後の展望、地域交通の現状について広報委員が取材しましたので紹介します。

次世代モビリティ
交通社会実験のこれまで

「NAVYA EVO」に広報委員が試乗しました(令和6年11月8日)

安全に運行するため、今回試乗した自動運転EVバスには高性能なセンサーが多く取り付けられていました。人の横断にセンサーが反応して停車するなど、安全な走行を行っていました。

また、車内外に取り付けられたカメラにより、リアルタイムでオペレーションセンターに映像が送られており、走行中のトラブルには遠隔操作や利用者との会話など対応が可能です。

自動運転バスがまちなかを走行するには、信頼できる車両の開発も必要ですが、市民がしっかり自動運転バスを認識し、まちを活性化する仲間として運行に配慮することが必要との話を伺いました。





呉市地域公共交通計画（素案）について、令和6年11月22日の総合交通対策特別委員会で報告がありました。

呉市の地域公共交通を取り巻く現状

・全国と同様に、人口減少による移動需要の縮小やそれに伴う交通事業者の収支悪化、運転手・船員の不足を始めとする供給面の課題などにより、地域公共交通の置かれている状況は、厳しさを増している。

↓ どうなった

地域公共交通の維持・確保に必要な呉市の財政負担は、平成30年度以降に急上昇

・スクールバスの運行や「いきいきパス」の負担金等を含めると、一般会計予算に占める公共交通関連経費の割合が、中核市の中でひときわ高く、県内市と比較しても高い状況
・地域公共交通の維持・確保に必要な呉市の財政負担率は、今後もさらに増加する見通し

↓ どうする

地域公共交通政策のマスタープランとなる「呉市地域公共交通計画」を策定

・人の暮らしを中心とした、地域全体で支える交通体系の実現を目指し、人の移動に着目した視点からの計画
・地域住民、医療機関、商業施設、福祉施設等の交通事業者以外の分野との「共創」による、多様な輸送資源の活用

↓ どうなる

目指す姿（基本的な方針）

- ・日常の移動需要を満たす交通サービスの確保
- ・近隣の都市との接続性の確保
- ・快適に多様なおでかけが可能となる環境の確保
- ・自家用車から公共交通・地域主導型交通等へ
- ・脱炭素社会の実現に貢献
- ・運転免許が無くても安心して暮らせる、地域交通の安定供給
- ・財政的に持続可能な交通体系の構築

スケジュール

- ・市内18地域で住民説明会
- ・市民意見募集

↓ 素案の修正

↓ 令和7年3月中に公表予定



※住民説明会・市民意見募集は令和6年12月27日に終了しています。

12月定例会 議案審議

- 市長提出案件・・・110件
- 意見書・・・1件
- 選挙・・・2件



▲老朽化が進む東消防署川尻出張所



Pick Up 〈議第130号〉

01 東消防署川尻出張所・消防団川尻分団車庫を建て替えます。

川尻出張所は昭和44年に建設され、老朽化が進んでいます。その建て替えに合わせ、近隣に位置する消防団川尻分団の詰所・車庫を統合し、複合庁舎の建設を行います。

Q 海に隣接していますが、津波対策を伺います。

A 南海トラフ巨大地震による津波の影響も想定した庁舎の建設を行います。庁舎内への浸水を防ぐための対策として、敷地のかさ上げや防水扉・防水板の設置などを行います。

委員会資料はこちら



▲音戸町の呉市総合ケアセンターさざなみ

Pick Up 〈議第144号〉

02 呉市総合ケアセンターさざなみの指定管理者を指定しました。

現在「社会福祉法人呉市社会福祉協議会」が指定管理者として管理運営しています。令和7年3月31日で指定期間が終了するため、次期指定管理者を公募したところ、「同種の施設の運営実績があり、医療・介護の人材の確保能力に長けていること」などが評価され、林グループを指定管理者に指定しました。

指定期間は令和7年4月1日から令和17年3月31日の10年間です。

Q 指定管理期間は通常5年間ですが、なぜ10年間になったのですか。

A 昨今、介護人材不足が問題になっています。指定管理期間を5年間とすると働き手の安定的な雇用が難しく、ある程度の期間がないと指定管理者に応募しにくいと判断したため、今回は10年間としました。

委員会資料はこちら



▲倉橋町のくらはし桂浜温泉館

Pick Up 〈議第200号〉

03 くらはし桂浜温泉館等の指定管理者を指定しました。

くらはし桂浜温泉館等の指定管理者を指定しました。

くらはし桂浜温泉館ほか8施設の管理運営を、一般財団法人倉橋まちづくり社が行います。指定期間は令和7年4月1日から令和12年3月31日の5年間です。

Q これからの5年間で大きく変わる点を教えてください。

A キャッシュレス決済化やWi-Fi設備の導入、インターネットで施設の空き状況の確認や予約ができる「ひろしま・やまぐち公共施設予約サービス」の導入を考えています。

委員会資料はこちら

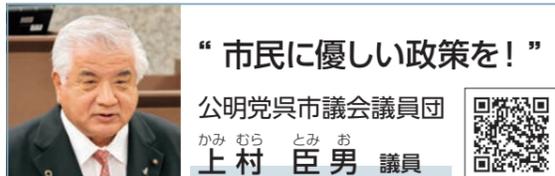




カタログポケット

スマホで読める「デジタルブック配信」
呉市議会だより「Team Gikai KURE」は、年4回、2・5・8・11月に発行します。

詳細はこちら



“市民に優しい政策を！”

公明党呉市議会議員団
かみむら とみお
上村 臣男 議員



議員：予算編成の考え方を伺う

少子化・高齢化の中、今後15年間は持続可能な呉市を目指し、少子化の流れを抑制する正念場と捉えています。令和7年度の予算編成にどのような方針で取り組むのかを伺います。

市：基本方針の第1は「呉市の未来を切り拓く投資」として、広島大学とのTown&Gown構想の着実な推進、こどもまんなか社会実現に向けた社会全体の意識改革、子供・子育て世代への切れ目ない支援、第5次呉市長期総合計画の将来都市像実現、呉・大博覧会に取り組めます。

第2は「行財政改革の積極的な推進」として、行政事務のデジタル化による市民ニーズに対応する行政サービスの提供と効率的な行政システムの確立、国・県からの財源確保と交付税措置のある有利な起債の活用、公共施設に関する個別施設計画の実施による歳出見直しに取り組み、持続可能な財政基盤を確立します。

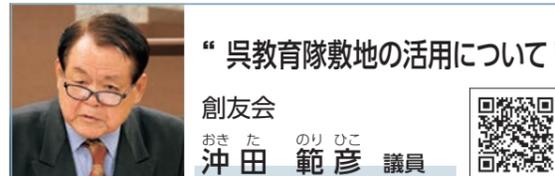


▲呉市議会もこどもまんなか社会の実現を後押し

議員：SNSトラブル予防の取組

子供を被害者にも加害者にもさせないように愛知県警察開発のアプリ「コドマモ」を周知啓発してはいかがでしょうか。

市：子供が利用するIT機器を保護者が管理するペアレンタルコントロール機能は有効と考えています。自撮り被害等の防止に効果が期待できるため、情報を収集・整理し、呉市立学校保護者へ周知したいと考えます。



“呉教育隊敷地の活用について”

創友会
おき のりひこ
沖田 範彦 議員



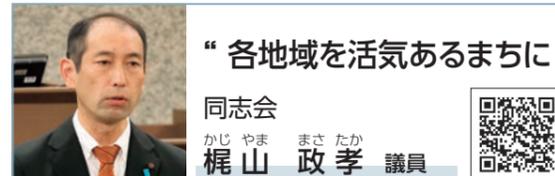
議員：日鉄跡地に移転要望した理由

呉市は、苗代の呉市総合スポーツセンターを株式会社ディスコに売却しました。大きな雇用を生む企業で、撤退が決まった日鉄呉地区に代わる受け皿として大きな役割を果たしてくれると期待しています。そして、防衛省が日鉄呉地区の広大な敷地42万坪を購入する方針を出しました。これらのことから防衛省による日鉄呉地区跡地の活用や、スポーツ施設の再配置などが大きな課題となる中、市は防衛省に対して海上自衛隊呉教育隊を日鉄呉地区跡地へ移転するように要望しました。その理由を伺います。

市：呉教育隊の敷地は約3万坪の広さがあります。平地が少ない中央地区において、まとまった広さがあることや交通の結節点である呉駅・呉港に近くアクセスがよいことから、呉市のまちづくりを考えたときに極めて魅力的な場所です。また大和ミュージアムなどがある宝町地区、呉市立美術館などがある幸町地区、さらには本通や中通の間に位置しています。この土地が利用できれば、様々な、かつ大きな可能性があると考えており、防衛省へ要望したものです。一方で、この場所は好立地で、定員充足に苦しむ海上自衛隊にとっても、隊員募集するために望ましい場所であり、防衛省内においても調整が難しい事案であると推察されます。



▲移転を要望した海上自衛隊呉教育隊



“各地域を活気あるまちに”

同志会
かじやま まさたか
梶山 政孝 議員



議員：中心部での大型事業の波及効果

中央地区で大型事業が行われていますが、市内全体が活気あるまちとするために、巨費を投じておこなう事業が周辺地域の活性化に好影響を与える波及効果はどのようなものかを伺います。

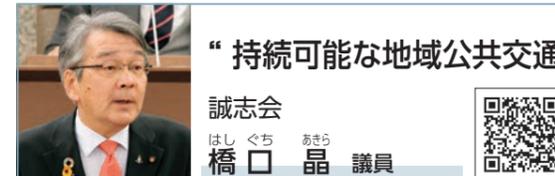
市：呉駅周辺地域総合開発では呉市全体のまちづくりの起点として、鉄道、国道、港という3つの交通モードが集積する立地特性や、広大な2階デッキ空間等を効果的に活用しながら、連鎖的な民間開発を誘導し、市内全域のエリア価値の向上に繋がりたいと考えています。大和ミュージアムのリニューアルでは、博物館の機能や魅力を向上させるとともに、観光情報を発信して回遊性を向上させ、幸町地区総合整備事業では、歴史・文化・芸術の拠点として整備することで関係人口や交流人口が創出され、呉市全体の活性化につながるものと考えています。



▲呉市全体に人の流れを

議員：呉市は都市拠点と呉と広の2地区に設定されています。中央地区で行っているまちなか公共空間デザイン計画や、子供・若者支援を他地区でも行う考えはないかを伺います。

市：今後はそれぞれの地区におけるまちづくりの機運の高まりや、公共空間を活用するニーズ等を踏まえ、拡大について検討します。こども若者についてもニーズを詳細にとらえて取り組んでいきます。



“持続可能な地域公共交通”

誠志会
はしぐち あきら
橋口 晶 議員



議員：交通結節点での待合環境整備

交通結節点の乗り継ぎ・待合環境の整備は、利用者を維持・増加させる上で重要です。JR駅施設のシンプル化が進む中、交通結節点の待合環境を向上させる必要性が高まっています。例えば、新広駅前では、広市民センター1階ロビーを待合室として活用できれば、風雨をしのぎつつトイレも利用可能で、利便性の向上が期待できます。また、公共施設だけではなく、近隣のコンビニエンスストアなどの商業施設を活用する考え方もあります。この状況を踏まえ、当局の交通結節点の乗り継ぎ・待合環境整備のあり方を伺います。

市：交通結節点の乗り継ぎ・待合環境の向上については、呉市地域公共交通計画の策定に向けた住民意見交換会でも、利用者から多くの要望が寄せられ、本市の重要な課題と認識しています。本計画の素案において、交通結節点の待合環境として必要な機能・設備を設定した後に、市内の交通結節点における待合環境を総点検し、整備の方向性を検討した上で、順次、改善を図ることとしています。また、駅やバス停のみで必要な機能・設備を確保するのではなく、公共施設などを活用する方法も有効と考えており、郵便局やコンビニエンスストアを待合施設として活用する他自治体の事例も踏まえ、快適な待合環境となるよう改善を図ります。



▲公共施設に隣接するバス停



代表質問

12月2日・3日の2日間にわたり、代表質問を行いました。



カタログポケット

スマホで読める「デジタルブック配信」！
呉市議会だより「Team Gikai KURE」は、年4回、2・5・8・11月に発行します。



“若者の多様な希望の後押しを！”

さ えき こういちろう
佐伯 航一郎 議員



議員：ライフデザイン支援を含めて、生涯学習の今後の展開を伺います。

市：若者の将来の夢や希望の実現に向けたライフデザインに応じた支援は大切だと認識しています。若い世代のニーズや希望を把握し、寄り添いながら、若者が必要な情報や体験談などを入手できる、ライフデザイン支援も踏まえた講座、セミナー等の開催を教育委員会などとも連携・相談しながら検討します。



“再生可能エネルギーの地産地活”

い て は た りゅうせい
井手畑 隆政 議員



議員：呉市の「2050年ゼロカーボンシティ」実現に向けて地域新電力会社を設立してはいかがですか。

市：地域新電力会社の設立は電力の地産地消の一手法です。次期ごみ処理施設の設計・施工・管理運業者の選定に当たり、施設で発電した電力を他の公共施設で消費する地産地消の取り組み提案を求めている、引き続き、本市に有益と思われる方法で「地産地活」について検討していきます。



“軟骨伝導イヤホンの導入を”

か め い さとみ
亀井 聡美 議員



議員：軟骨を振動させて音を聴く軟骨伝導を利用した集音器付軟骨伝導イヤホンを窓口で導入する自治体が増えています。スムーズなやり取りや個人情報の保護、さらに利用者と職員双方の負担軽減にもつながるため、活用への見解を伺います。

市：非常に有効なツールとして、活用により窓口サービスの向上が図られると考えています。市民ニーズを把握し、導入を検討していきます。



“小中学校への製氷機導入”

さ か い まさおみ
坂井 誠臣 議員



議員：熱中症対策として、青森県弘前市では製氷機が導入されました。体育館へのエアコン導入が難しい中、製氷機導入のハードルは比較的低いと考えます。実現の可能性を伺います。

市：1日の製氷能力が100kgタイプの業務用製氷機を全校に各1台導入した場合、約5000万円が必要です。既に製氷機を導入している自治体の運用状況も確認しながら、慎重に研究していきます。



“蔵本通りの屋台について”

お だ こうしろう
小田 晃士朗 議員



議員：歴史ある重要な観光コンテンツである呉の屋台ですが、7年ぶりの新規募集において応募が1件でした。今後の対応を伺います。

市：数年に1度の募集のタイミングを増やすとともに、募集期間を長くすることも検討し、若い世代が十分検討できる機会を設けることで、新規参入していただき、このまちの魅力でもある呉の屋台を守り続けていきたいと考えています。



“学校現場の働き方改革について”

か わ ほん はつかい
河原 初海 議員



議員：学校の働き方改革の今後の展望を伺います。

市：学校における働き方改革取組方針の4つの柱「学校・教員が本来担うべき業務に専念できる環境整備」「部活動指導に係る教員の負担軽減」「学校組織マネジメントの確立」「教職員の働き方に対する意識の醸成」について取組を確実に実行し、また、教職員の勤務実態の把握、取り組みの効果検証により改善・充実につなげていきます。



“豊かな海の育成”

お か ざき げんたろう
岡崎 源太郎 議員



議員：県の海藻事業で藻場の育成をされているようですが、水産庁と環境省の補助制度もあります。国の制度を活用して藻場育成としてはどうでしょうか。

市：提案のあった補助事業は、漁業者を含む地域団体が行う藻場の保全などの活動に対して、補助されるものです。地域自らの意識が醸成され、主体的に保全活動を行う状況が整えば、提案のあった補助事業を活用していきたいです。



“旧呉市消防局等跡地の方向性”

さ だ もり けんじろう
定森 健次朗 議員



議員：旧呉市消防局・西消防署庁舎跡地は、一刻も早く新たな施設を誘致すべきと思います。今後の展開をどう考えていますか。

市：今後の不動産市況の動向を注視しながら、サウンディング型市場調査を継続的に実施し、指針や対案などの具現化できるものは公募条件等に反映させます。呉市が望むよい提案があった場合には、迅速に公募が実施できるよう体制を整えてまいります。



“身近な公共施設の整備について”

ふ じ ちと てつとし
藤本 哲智 議員



議員：市内の公園トイレは和式便器が多く、利用が難しいと聞きます。市民に身近な公園トイレの洋式化について伺います。

市：公園トイレの洋式化は生活スタイルの変化などの社会背景から、喫緊の課題と認識しており、洋式化やバリアフリートイレの整備などを実施していますが、今後より一層、この取組を進めるとともに、引き続き、誰もが利用しやすい公園整備を行ってまいります。



個人質問

12月4日・5日の2日間にわたり、個人質問を行いました。



“インフラ整備と交通について”

市民フォーラム
な か はら あきお
中原 明夫 議員



議員：道路の整備状況と今後の課題

呉市は「呉市土木未来プラン」を策定し、市が実施する道路事業箇所を定め、また国や県が実施する道路事業も盛り込み、整備を進めています。現在の整備状況や道路整備についての課題を伺います。

市：呉市は第5次呉市長期総合計画が目指す将来像を実現するための政策を着実に推進するため、令和3年度に「呉市土木未来プラン」を策定しました。災害に強い道路ネットワークの構築、物流の効率化による生産性の向上、交流人口の拡大、観光周遊のさらなる活性化、持続可能なまちづくりなど本プランの重点化項目に掲げ、効率的・効果的に、市内の主要幹線道路の整備を進めています。

また、令和8年度から始まる後期実施計画を策定することとし、新たな課題として、呉市総合スポーツセンターへの企業立地などに対応し、沿線企業の活動を支える県道呉環状線の郷原・苗代間の新規事業化や持続可能なまちづくりとして商業施設の立地が進む広駅前地区の街路整備などに取り組む必要があると考えています。

引き続き、市内における国道・県道の整備促進について、国や県へ働きかけを行うとともに、市が管理する道路について、国の補助金や有利な起債を最大限活用するなど、必要な予算の確保に努めながら、計画的な整備を進めていきます。



▲県道呉環状線(郷原-苗代)

議員研修 (開催日: 11月8日)

広島県市議会議長会議員研修会

呉市議会が幹事市となり広島県市議会議長会(西部ブロック)の研修会を開催しました。

6市の議員・議会事務局職員合計158名が参加し、「ハラスメントのない議会を目指して」と題した研修を受けました。



議員研修 (開催日: 1月14日)

呉市議会議員研修会

効果ある議会改革を進める必要があるとして、「議会改革について」研修会を行いました。

長年にわたり全国市議会議長会で議会運営や議会制度の立案・運用に携わった、(株)廣瀬行政研究所代表取締役の廣瀬和彦氏を講師に招きました。



市内視察 民生委員会 (視察日: 8月19日)

「子育て支援」について、認定こども園わかば幼稚園が今年度から実施している「こども誰でも通園制度」や「体調不良児対応型事業」の視察を行いました。

視察内容等については、所管事務調査終了後に本会議で報告する予定です。



市内視察 産業建設委員会 (視察日: 11月15日)

「有害鳥獣対策」について、農林水産課が実施したエキスパート派遣事業で農業・食品産業技術総合研究機構の堂山宗一郎主任研究員を倉橋町尾立地区に招いて実施した、地域の方を対象とした座学と現地実習を視察しました。



議会報告会 (地域開催)

1/14 宮原女性連合会 × 産業建設委員会

Q 所有者不明の空き地から雑木が越境し自宅敷地内に入り困っている。どのように対応したらよいか。

A 空き地の管理は所有者が行い雑草や雑木が周辺に影響しないようにしなければなりません。所有者不明の空き地から雑木が越境し民家や道路が危険な状況になっている場合等は自治会長さんや議員と話し合い対応を検討する必要があります。



1/17 警固屋地区自治会連合会 × 政策研究会

Q 防衛省の計画案を呉市はどのように考えているか。

A 令和6年3月に防衛省から日鉄呉地区跡地における多機能な複合防衛拠点の整備について説明がありました。呉市の要望を示すため、7月3日に新原市長と中田議長の連名で7項目からなる要望書を防衛大臣に提出しました。



6月28日の議会協議会資料はこちら



“日鉄跡地問題について”

おくだ かずお 議員



議員: 防衛省のゾーニング案に「白地」が残されています。どう理解していますか。また、呉市の将来を左右するような問題ですが、市民への説明責任をどう考えていますか。

市: 中間報告において示されたこの白地の部分を、これからどのようにされるのかについては、現時点では承知していません。また、市民の皆様への説明は防衛省とも相談しながら検討してまいります。



“まちづくりと緑化”

やまがみ ふみえ 議員



議員: 都市計画マスタープランにおける街路樹を含む緑地の位置づけを伺います。

市: 地域のシンボルとなる道路は、積極的な緑化や景観に配慮した整備を推進し、公園緑地は、配置や規模等の見直し、二酸化炭素吸収源の拡大に向け緑化を推進することなどを本プランに示しています。引き続き、緑地を保全し、街路樹の適正な維持管理に努め、居心地の良い都市環境づくりを推進します。



“呉市長期総合計画の見直し”

いんきよ ゆたか 議員



議員: 今後10年が呉市の未来を決めます。未来への投資効果を上げるため、呉市長期総合計画のローリングが必要ではないですか。

市: 社会の変化や国の動向を踏まえ、前期計画策定時以降の施策と今後取り組むべき施策などを整理し、令和7年度から後期基本計画の策定作業として、計画をローリングする予定です。市の将来都市像の実現に向け、後期基本計画を策定したいと考えます。



“不登校対策として専属教員を”

くぼ あずま 議員



議員: 広島市はSSRを小中全校に設置すると報道がありました。呉市のSSR設置率は小中合わせて約1割ですが、他の市町村は約3割です。早急に教室整備ができる予算をつけ、専属教員を置くべきではないですか。

市: SSRは不登校対策の有効な手段の一つで、一律にSSRを設置する必要はないと考えており、児童生徒一人一人の実態に応じた支援を行うことが大切だと考えます。



議会TOPICS

第22回呉市立中学校ふれあい夢議会

11月2日に開催予定であった第22回呉市立中学校ふれあい夢議会は、中止となりました。この事業は、呉市議会議場で本会議ながら生徒が提案役と議員役に分かれ、事業提案や質疑、採決を行います。悪天候のため事業は中止となりましたが、生徒が作成した素晴らしい提案を紹介します。

広南中学校・横路中学校

子育て世代にとっての呉の魅力を向上させるとともに、観光客の増加につなげるために、廃校施設を活用した方策を提案することによって、ふるさと呉市に親しみや誇りをもてるようにする。

広中央中学校・郷原中学校

呉市の海や山等の豊かな自然を生かしたまちづくりを提案することによって、呉市の良さを再認識するとともに、郷土を愛する心情を育む。

阿賀中学校・和庄中学校

今ある呉市の良さを生かした特産物を企業と協力し開発する等、観光客の増加と呉市の魅力をアピールする方策を提案することによって、呉市の魅力を再発見するとともに、呉市の発展に貢献する心情を育む。



個人質問

12月5日に個人質問を行いました。

動画はこちら



1月15日

広高校

× 産業建設委員会

私たちが企画したプロジェクトに議員さんから呉市の現状に合わせたコメントや前向きなアドバイスをいただきました。私たちの考えを伝える良い機会になりました。

広高校は生徒から地域課題についてのプレゼンがあり、議員と意見交換をしました。

生徒からの提案

「高校生が子供の居場所をつくらう！」

・広地区は子供の数に対して児童館が少ないため、児童が集う場所を高校生が提供してはどうかと考えました。そこでは高校生と児童が勉強や工作、遊びなどを行います。

この活動は地域や商店街に広げ、子どもの声が聞こえる賑わいのあるまちに変えていきたいと思ひます。



つちえ しづき 土江 梓月さん
ますだ かの は 増田 叶華さん
じつたに あんじゅ 實谷 杏珠さん
やすもと かなと 安本 叶翔さん

議会報告書

1月16日

呉商業高校

× 総務委員会

呉市の人口減少や地域の公共交通への取り組み、特徴を活かした観光客の呼び込みなど、私たちの生活に関わる現状と課題について意見交換が出来ました。

Q 商店街の店舗が減少しています。充実するための取り組みをしていますか。

A 商店街等が呉市の「呉市商店街等にぎわい集客支援事業」の補助金を活用しイベントなどを開催し来街者を来店者につなげる取り組みを行っています。また、リノベーションスクールを開催し空き店舗を活用した新たな事業（商業）展開ができないかなど勉強会を行っています。



なかの いろは 中野 彩色さん
おかもと かりな 岡本 香里奈さん
おがな せいや 小笠 聖矢さん
くわばら ともあ 栗原 空明さん

高校生の考え

11月7日

音戸高校

× 総務委員会

私たちが音戸のまちづくりについて考えています。疑問に感じていたことを聞き、それを呉市全体の問題として捉え、解決方法を議員の皆さんと一緒に考えることができました。

Q 音戸の渡船は生活・通学・観光にも重要な役割を担っていました。復活することはできませんか。

A 渡船は令和3年に廃止になりました。船が壊れ、継続して事業をする人がいない状況でした。皆さんや音戸の方が何としても必要だということになれば、復活するための知恵を出し合いながら、市に働きかけてはいかがでしょうか。



くまがい まりあさん 熊谷 まりあさん
ひらかわ なぎ 平川 凧さん
エメリオ ヤフィットさん
こまつ ちはる 小松 千桜さん
けさまる ここあ 今丸 心彩さん
ながおか しほき 永岡 奨基さん
おおたに こうが 大谷 紅我さん

11月11日

呉工業高校

× 文教企業委員会

自分たちの住む町が将来どのように変わるのか、どんなふうに変ったらいいのかなど議員さんと意見交換することが出来ました。普段体験することのない貴重な時間を過ごしました。

Q 水道料金の値上がりは続きますか。

A 現在、一世帯当たり月平均230円が値上がりしています。これは水道管の老朽化等に対する補修・保全に多くの予算が必要ながあげられ、水道を使用する市民が負担しなければなりません。



いのうえ おうき 井上 桜輝さん
たばら 晴貴さん 田淵 晴貴さん
いわさき きょうま 岩崎 恭馬さん
すなだ りおん 砂田 璃音さん

書面開催

呉三津田高校

× 政策研究会



Q 内閣府が掲げている Society5.0 の理念を、今後の呉市のまちづくりにどのように具体化していきたいと思ひれますか。

A Society5.0 の呉市の具体例として「交通まちづくりとスマートシティの発信拠点の形成」を目指す呉駅周辺地域総合開発、農業分野でのドローンを活用した薬剤散布や温室栽培の自動管理など、スマート農業を支援する「スマートチャレンジくれ」の事業を進めています。市役所全体ではDX推進、生成AIの活用などの活用も進んでいます。

少子化が進む呉市で、子供たちや若い世代の皆さんが希望を持って学び、働き、暮らしていける、また、高齢者も安心して住み続けられるような都市を実現するために Society5.0 の理念を活かすことが大切だと考えます。

1月28日

呉高校

× 産業建設委員会

呉に住む私たちは、選挙などを通して市政に関わることが大切だという認識を深めることができました。これからは呉市の取り組みに関心を持って生活をしていきます。

Q 呉市から転出する人が多いですが、これを抑える取り組みはしていますか。

A 呉市の子供たちが呉市に住み続けられるように、地元の魅力ある仕事を見つけていただく取り組みを行っています。また、皆さんが子育てをする世代になった時の支援は充実しており、子育てしやすいまちであるという強みを持っています。



みやはた だいき 宮畑 大生さん
はしもと れい 橋本 玲衣さん
おがさほら じゅん 小笠原 準さん
たなか りの 田中 莉乃さん

高校生と議員

11月13日

呉宮原高校

× 民生委員会

Q 呉市から若者が流出しています。どのように考えているか教えてください。

A 若者が働きたいと思う職場が呉市には必要です。一例としてクリエイティブな産業が増えると若者が増えると言われていいます。若者が働きたい職場を増やす取り組みを、議会としても市に伝えていきます。

市民の声が議会に届いて形になることもある、私たち学生でも意見をまとめ行動すれば変えていけると伺い、政治に興味を持つことが出来ました。



おおにし ゆうが 岡西 勇芽さん
みぞぐち はると 溝口 晴杜さん
おおが ひろむ 大賀 大夢さん
しんたに 藍り 新谷 藍里さん
まとば れん 的場 蓮さん

議会報告会

(学校開催)

呉市議会では市内の高校で議会報告会（意見交換会）を開催しています。

高校生が感じている疑問や若者目線の意見を聞き取り今後の取り組みに反映していきたいと考えています。

11月12日

呉南特別支援学校

× 文教企業委員会

私たちが考えた要望を真剣に聞いてくださいました。叶うとうれしいです。

私たちが色々なことに挑戦し、今後の就職も頑張っていきたいと思ひます。

Q 議員になり、苦しい時や辛い時はありますか。

A 市民の皆様からたくさん意見や要望を聞き、それを実現するために資料を作って提案しています。思いどおりに進まないこともあり、辛く大変だなと感じる時があります。



ますだ せつな 増田 刹那さん
きむら ひゆうが 木村 日向さん
しみず エドアルドさん 清水 エドアルドさん

呉市の未来